

講座名（専門科目名）	器官制御外科学講座（泌尿器科学）	教授氏名	野々村 祝夫
学生への指導方針	研究パートナーと協力しつつ、本質的かつ国際的な研究結果を生み出すこと		
学生に対する要望	研究に対する真摯な姿勢		
問合せ先	(Tel) 06-6879-3531 (Email) kiuchi@uro.med.osaka-u.ac.jp	担当者	木内 寛
その他出願にあたっての注意事項等	症例報告の学会発表と論文報告		

（以下教室紹介）

腫瘍、腎移植、アンドロロジー・排尿機能（性分化異常、男性不妊、性機能、男性更年期障害）の3つの研究グループより構成されているもののグループの境界は他の教室ほど厳密ではありません、興味があれば他のグループのプロジェクトに自由に参加できるようにしています。研究は、基礎教室、微生物病研究所、細胞工学センターに大学院生、医員を派遣し、指導をうけています。国内外の留学にもつとめており、ドクターコース終了者や研究生やドクターコース在籍者も派遣してきました（米国国立衛生研究所、ハワイ大学、ニューヨーク大学、ハーバード大学、カリフォルニア大学、ジョンズホプキンス大学、マンチェスター大学）。

腫瘍：今や Molecular Biology のテクニックは必須ですが、新しいテクニックに翻弄されるのではなく、これらの技術を用いて臨床の場に還元できる研究を目指しています。現在は、（大阪大学病理病態学教室と連携して）泌尿器癌、特に前立腺癌の発生や初期病理に関する研究を行っています。

- 前立腺癌の前癌病変の遺伝子の異常
- 腎癌や膀胱癌、精巣腫瘍患者の遺伝子多型解析
- 前立腺癌の骨転移のメカニズム
- 腎癌や膀胱癌、精巣腫瘍患者の遺伝子多型解析

移植：免疫抑制療法の基礎研究から悪性腫瘍の研究へ、組織適合遺伝子の研究から各種疾患（無精子症、嚢胞腎、精巣・腎悪性腫瘍など）責任遺伝子の同定の研究へと発展を計るなど、分野にとらわれない研究を行っています。

- 既存抗体陽性のため移植困難である症例に対する新しい免疫抑制法の開発
- 大動物（ブタ）を用いた、遺伝子導入による慢性拒絶反応予防の研究
- 免疫寛容を導入・維持するための研究
- 異種移植の準備としてのブタ腎移植実験

アンドロロジー・排尿：

- 生殖細胞特異的に反応する TRA98 の抗原遺伝子の同定とその解析
- マウス・ヒト前立腺幹細胞同定に関する細胞生物学的研究
- 精巣型アクチンキャッピング蛋白に関する研究
- ラットストレスモデルにおける排尿機能、性機能の検討